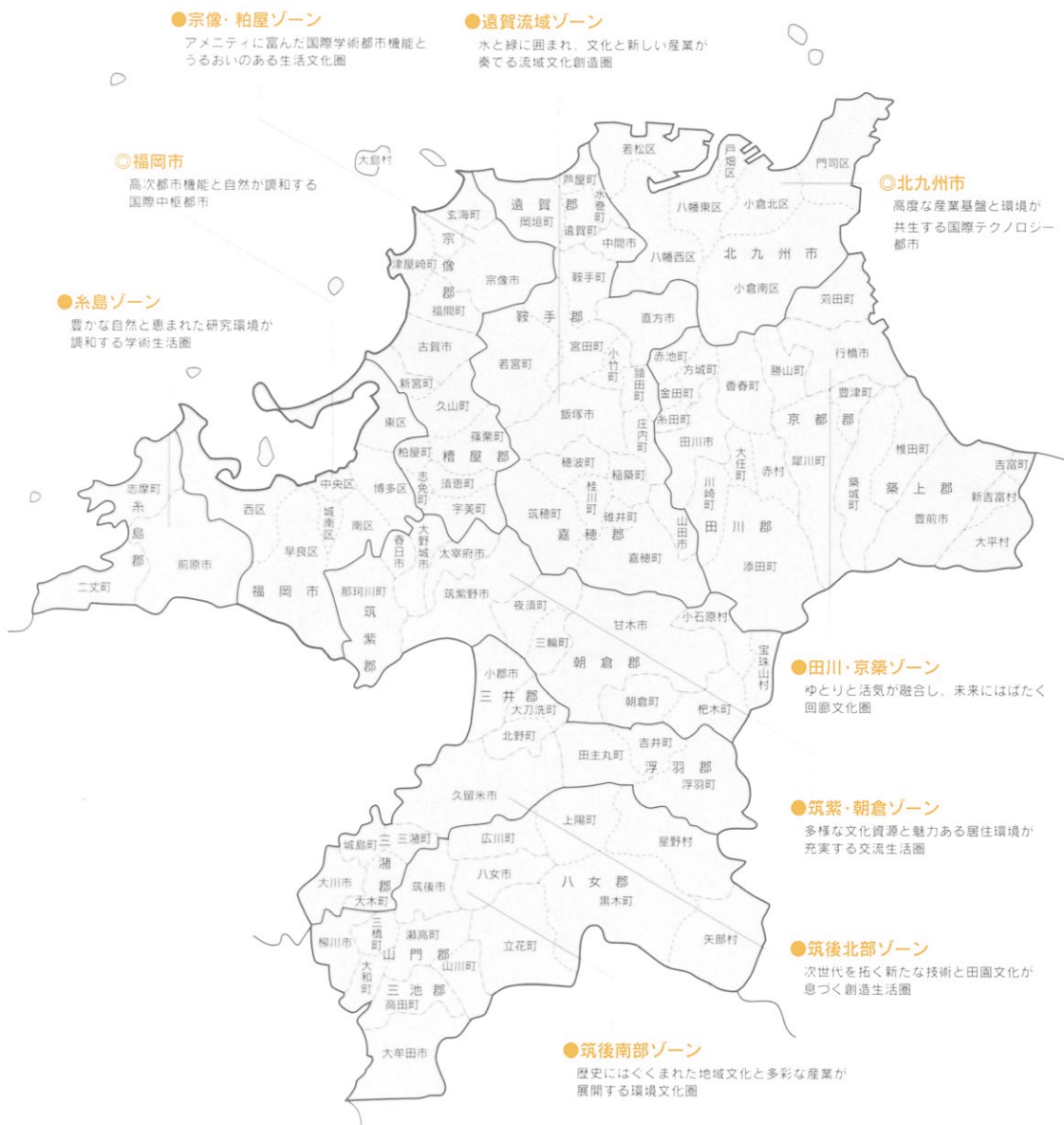


(4) 快適生活圏整備構想

(4) 快適生活圏整備構想

生活者の視点に立って、一定規模の人口の集積や日常的な行動範囲、あるいは地域特性の同質性などにより、地域をある程度連続したまとまりとしての日常生活圏（快適生活圏）として捉え、日常生活に身近な基礎的サービスや社会資本の整備を進めるとともに、圏域のもつ潜在力を十分に発揮させ、地域特性を伸ばすための施策について、県と圏域内の市町村で連携しながら、重点的効率的な推進を図ります。

「ふくおか新世紀計画」において、県内を9つの特色ある快適生活圏にゾーニングしています。今後は、市町村およびその住民の主体的な判断を十分尊重しつつ、市町村合併推進要綱に示された市町村合併パターンとの整合性を図りながら、この快適生活圏整備構想を推進していくこととしています。



主要施策名（担当課）	事業主体	計 画 内 容
快適生活圏整備構想の推進 （地域政策課）	・ 県 ・ 市町村	<p>（糸島ゾーン） 移転が計画されている九州大学の新たなキャンパスを核とする学術研究機能の集積や、豊かな自然と歴史を活かした余暇空間の創造により新たな発展を図ります。</p> <p>（筑紫・朝倉ゾーン） 福岡市に近接し、自然環境にも恵まれた快適な生活空間の整備を促進するとともに、歴史遺産や文化資源を活かした交流機能の整備などによる地域の活性化を図ります。 ・ 甘木朝倉地域振興計画の推進 ・ 「水・緑・人づくりネットワークの創造」構想の促進</p> <p>（宗像・粕屋ゾーン） 北部九州における国際的な学術研究拠点機能の集積と新福岡空港構想推進による国際交流機能の整備を促進するとともに、海や山などの豊かな自然を活かしたオアシス的な生活文化圏の創造を図ります。</p> <p>（遠賀流域ゾーン） 地場産業や自動車、I C 関連産業等の多様な産業の集積を高め、大学や各種研究施設などの国際的な学術開発機能の強化を図るとともに、自然や歴史的・文化的な資源と福岡・北九州両都市圏との近接性を活かしたレクリエーション機能の整備等を促進します。</p> <p>（田川・京築ゾーン） 東九州道の整備促進などの広域的な交流基盤、高度情報基盤の整備等の交流機能の強化による個性と活力あふれる地域の活性化を図るとともに、大学などを中心とした産・学・官の連携による保健・医療・福祉関連の研究開発を促進します。 ・ 京築地域振興計画の推進 ・ 「京築回廊都市の創造」構想の促進</p> <p>（筑後北部ゾーン） 地域特性を活かした地場中小企業の研究開発、産業機能集積の高度化を図るとともに、新たな広域拠点形成をめざして、地方拠点都市地域整備構想を推進します。 ・ 浮羽地域振興計画の推進 ・ 「みのう悠々交流圏の創造」構想の促進</p> <p>（筑後南部ゾーン） 企業立地の推進、地域に蓄積された技術力を活かした環境・リサイクル産業の創出による新産業の集積や三池港の整備などによる物流機能の強化を図るとともに、矢部川流域の豊かな自然と歴史・文化を活かしたネットワーク型観光ゾーンの形成や満足シティ構想を促進します。 ・ 八女地域振興計画の推進 ・ 「自然と歴史が織りなす感動交流圏の創造」構想の推進</p>

(4) 快適生活圈整備構想

主要施策名(担当課)	事業主体	計 画 内 容
快適生活圈整備構想 の推進 (地域政策課)	・ 県 ・ 市町村	(福岡市) 国際交流・文化交流拠点機能の強化および国際色と文化性に富んだ都市空間の創造を促進します。 (北九州市) 国際物流・技術拠点機能の強化および産業空間と都市空間が調和するまちづくりを促進します。